

大浪池～韓国岳～えびの高原登山

趣 旨 大浪池登山口から韓国岳山頂を経由してえびの高原に至るコースを踏破することで、自然の素晴らしさや美しさ、厳しさに直接ふれることで、自然と人間の関わりを大切にできる心情を培い、参加者同士の心のふれあいや絆を深めるとともに、自然に対する畏敬の念を育む機会とする。

日程例

09:00 霧島自然ふれあいセンター発
 09:25 大浪池登山口着(トイレ) ※ 荒天時は、えびのエコミュージアムセンターや近隣施設の見学も可能です。
 09:40 大浪池登山口発
 10:25 大浪池展望所着
 10:35 展望所発
 11:25 大浪池, 韓国岳鞍部～避難小屋着
 12:25 韓国岳山頂着, 昼食
 12:55 山頂発
 13:50 韓国岳登山口着
 14:10 えびのエコミュージアムセンター見学
 14:40 えびのエコミュージアムセンター発
 15:10 霧島自然ふれあいセンター着

連 絡 荒天時の態度決定、登山開始時及び終了時、緊急事態発生時に連絡

危険箇所

- ・ 大浪池一周ルート上の火口壁、大浪池付近及び鞍部に張ってあるロープを絶対に超えない。
- ・ 4合目付近のガレ場(ロープをつたって登る)
- ・ 鞍部の避難小屋から東側に侵入しない。鞍部から韓国岳登山ルート上はコースを外れない。
- ・ 頂上から下山開始地点では、左に降りないように注意(大浪池ルートに行く恐れあり)

※ 平成21年10月に当時小学5年生男児が遭難し、死亡した事案がある。(韓国岳8合目付近)

無線交信可能地点

大浪池山頂付近, 韓国岳5合目以上

留意事項

- (1) 引率指導者の指示を守る。
- (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
- (3) 体力に応じたペースで歩行し、適宜休憩をとる。
- (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
- (5) 落石を起こさない。
- (6) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
- (7) 自然を大切にする。
- (8) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

<眺望, 観察ポイント>

- ・ 大浪池展望所付近からの池と韓国岳の眺望、桜島方面の眺望を楽しむことができる。
 - ・ 頂上からの大浪池、獅子戸岳、新燃岳、高千穂峰、錦江湾に浮かぶ桜島、開聞岳、高隈山、紫尾山、宮崎県側の九州山地等の眺望を楽しむことができる。
- ⇔ その他、「韓国岳登山」、「大浪池登山」を参照。

歴史等 「韓国岳登山」、「大浪池登山」を参照。

大浪池～韓国岳登山～えびの高原



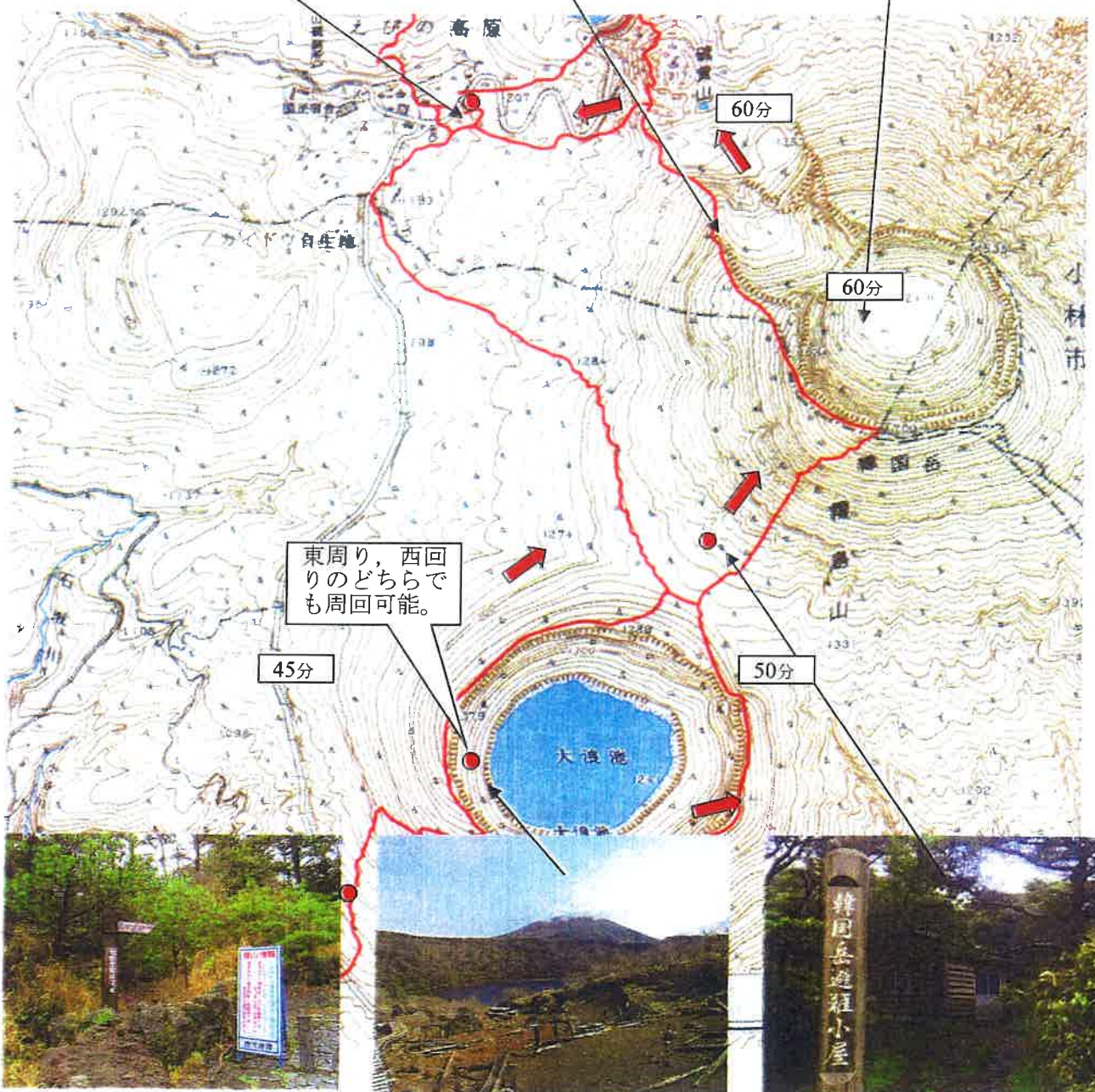
韓国岳登山入口



5合目付近



韓国岳山頂付近



大浪池登山口



展望所付近



避難小屋